



”自分らしく生きる”  
ヒントが詰まった  
朗読ライブ

Cover Artist Interview

市毛 良枝

Yoshie ICHIGE

俳優

文学座附属演劇研究所、俳優小劇場養成所を経て、1971年ドラマ「冬の華」でデビュー。以後、映画・テレビ・舞台と幅広く活躍。現在は、執筆活動や講演も行っている。40歳から始めた登山を趣味とし、1993年にはキリマンジャロ、後にヒマラヤの山々にも登っている。環境問題にも関心を持ち、1998年に環境庁（現・環境省）の環境カウンセラーに登録。また特定非営利活動法人日本トレッキング協会の理事を務めている。アールには、2018年「シリーズ恋文 vol.9」出演以来、2022年 ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」、2023年 音楽のある朗読会「あなたがいたから～わたしの越路吹雪～」に出演。



# 登山と介護で見つけた私の “自分らしさ” 可児の皆さんとその気持ちを 分かち合いたい

2018年の「シリーズ恋文 vol.9」で初登場して以来、コンスタントにアーラのステージに立つ市毛良枝さん。今回は、「市毛良枝の音楽と語りのひととき」『自分らしさ』で「登山と介護とこれから」をテーマとするスペシャル企画で、長年続けている登山や介護などの経験談を語りながら、それらにまつわる朗読を届けます。

市毛さんとアーラとの関わりは深いですね。2022年には「ala Collection シリーズ百目紅 午後四時」で可児に滞在され、昨年2月にも「音楽のある朗読会」を開催されました。

最初に「シリーズ恋文」のお話をいただいたとき資料がバサツと送られてきて、それを見たときにすごく驚いたんですよ。「この劇場は普通じゃない」と。大変失礼ながら、可児市というと名古屋のベッドタウンで、劇場も畑の中にあるんだらう...というイメージでした。でも過去の上演ラインナップを見ると、普通じゃない。「どんな劇場なの？」って、もう気になって気になって、いろいろな人に聞いて回りました。それで、当時の館長だった衛紀生さんのことを知って「あ、衛さんって人が普通

じゃないんだ」ってことがわかったりして(笑)。後に知ったのですが、衛さんと私の親友のお兄さんが早稲田大学で劇団の先輩後輩だったんです。風間杜夫さんも一緒に。そんなご縁もありながら、とにかく私にとってはミステリーツアーのような感じで辿り着いたのがアーラだったんですね。

確かにアーラは、地方の劇場として突出した数々の企画を実現させてきました。

別役美などの作品を上演する劇場が、大都市ではないこの街にあるということに驚いたんです。で、実際に行ってみると立派な空間に、お客さまのレベルが高かった。文化の発信を続けていくことの重要性を感じた出来事でした。そもそも、地域との関わりをとても大事にしている劇場でしょうか？実際にうかがうと、広場でお子さんを遊ばせていたりして、市民の方が普通に利用なさってる光景を目にします。たえ演劇に興味がなくとも、「この劇場で何かやってみよう」という記憶は残りますし、それがいつか何かとつながることもあると思うんですよ。確かに芸術ではお腹いっぱいにならないし、不要だと言う人もいます。でも、心を豊かにするという面では、今ほとんどん疲弊している地方を気づけ

ていくために芸術が果たす力は大きいだろうと思います。そういう意味でもすごい劇場だなと。市民の皆さんも「アーラを知らずに育つ可児市民はいませんよ」とおっしゃいますし。「東京の人たちは、どうして知らないの？」って、今は思っています(笑)。演劇人にとっては、アーラは有名ですけどね。



市毛さんご自身も、これまでのアーラでの公演を通して市民の方と交流なさいましたか？

東日本大震災と能登半島地震および豪雨の被災者の長く困難な復興のために、今年度も支援コンサートを開催します。公演の収益と、お客様からいただいた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体に寄託します。

**日時** 3/9(日) 14:00

**会場** 主劇場 **料金** 全席指定 1,000円 ※4才から入場可 **発売日** 1/12(日)

|プログラム|  
J.S.バッハ/G線上のアリア ほか

出演:長谷川彰子(チェロ)※新日本フィル首席チェロ奏者  
森浩司(ピアノ)

ナビゲーター:佐野秀典(作曲・編曲家)



aia Collectionは可児に滞在して創作していくプロジェクトですからね。サポーターさんとは顔見知りになりました。街で会ったりする。あ、どうも「みたいな感じですよ」「百日紅、午後四時」の稽古のときはコロナ禍でしたから、食事なんかは大変だったんですね。行きつけになったお店の方などはその状況をご存知ですから、定番のメニューに小鉢を添えて定食にして「普通のごはん」を提供してくださったり。お弁当をお願いしたときも、時間外でも「始まる前に行つてやるよ」つて、届けてくださいですよ。そんな風に、滞在中は本当に毎日の生活を支えていただきました。だから、可児に行くたびに「ただいまー！」という感じなんですよね。aia Collectionで滞在する役者はみんな、そうなるっちゃうんですって。「可児に行ったの？いいね」みたいな感じになる。市民の皆さんと、もつともつと交流できたらいいなと思います。

今回の「市毛良枝の音楽と語りのひととき」「自分らしさって～登山と介護とこれから～」は、アキラと一緒に企画したそうなんです。

なんとなくですよ。なんとなく、そんな話になったところから…。このところ、私はいろんなジャンルの朗読をやってきていて、言葉だけで何かを伝えることによるイメージの膨らみ方に面白みを感じていたんです。例えば、私がひとり喋っていても、男性になることもできるし、年齢も変われるし、急に外国人になることもできる。そこで、見てくださる方も外国の景色を想像して、くださった…。そういう変幻自在さ、いろいろなことができて、その喜びを大いに感じていて。そんなことを話したのがきっかけでしたね。30年以上続けている登山と、母の介護の話、そしてこれから未来に向かって何かできるかという話をしたいと思っています。そこに音楽と朗読も加えて…。それから、私が可児に辿り着くまでのお話…今この場ではかなりかいつまんでお話ししていますが、実はかなり長い話になるので、一度、可児の人たちに聞いていただきたくて。

「自分らしさ」というテーマには、どのくらいな意味が込められていますか？

私はかれこれ50年以上、俳優をやっていますけど、「俳優らしい俳優」になれない自分に対して、すごくもがいていた時期がありました。本當に向いてないと思つて…。今でも思つてゐるんですけどね。変な俳優だと思えます。変な奴が、なんだか知らないけど50年も仕事をさせていただけだった。登山にしても、皆さんがイメージされるような登山じゃないんです。高い山を制覇しようと思つて登っている

わけでもないし。介護についても「親孝行ね」と、勝手に良いイメージで捉えていた。そういうことが、なんだかとても気持ち悪くて、私は他人の先入観と一生闘つてののかも知れないと。きつと、誰でもそうだと思うんです。例えば、いいお母さんとしてずっと生きてきたけど、よく考えて、よく自分の中を覗いてみたら、振りをしていただけだったことに気づくとか。人はみんな社会の構成員ですから、役割を演じることは仕方ないけれど「じゃあ、自分ってなんだろ」ということを考えてもいいんじゃないかという気がしています。人は誰でも、その人らしく生きられないと思うので…。今の日本って、あれもダメ、これも迷つて、みんなが咎め立てて生きている感じがしますよね。もうちょっと楽になりたいつて、すごく思います。私が登山に求めているのは、感動なんです。山に登ると小さな感動がたくさんあつて、それを求めるのめり込んでいった。そうやって、好きなことを好きなように突き詰めていたら、大分ブレイクするんじゃないかと、「思つてるほど普通じゃないからね」なんて言われるんですよ。(笑)。やっぱり、変な俳優なんだと思います。

取材／福田明弘 撮影／中野建太  
 △メイク／長縄希穂(マレーヒ) スタylist／金野春奈  
 協力／フリーペーパーMEG



**公演名** 市毛良枝の音楽と語りのひととき  
 「自分らしさって～登山と介護とこれから～」

市毛良枝さんが、ステキな音楽と共に登山や介護などの経験談を語りながら、それにまつわる朗読をお届けします。

【出演】市毛良枝 【演奏】望月雄史(ギタリスト)

**日時** 2/1(土) 13:00開演

**会場** 小劇場 **料金** 全席指定 2,400円 25才以下 1,200円

発売中



多様な文化的背景をもった市民による舞台と交流会を楽しもう!

## 多文化共生プロジェクト「HOME」 & 多文化交流会

日時 2/16(日) ①13:30 ②16:00

「Home(家・家族・間取り)」をテーマにした舞台公演と交流会(合計80分程度)を開催します。

構成・演出・振付:堀江善弘 脚本:ニノキノコスター

出演・演出アシスタント:今津知也

出演者:可児市在住の外国籍市民参加者

会場 演劇ロフト

料金 入場無料(要整理券)

※0才から入場可

整理券 インフォメーションにて整理券

配布(電話予約可)

1/11(土)9:00~

協力:NPO法人可児市国際交流協会(KIEA)



2023年度公演の様子

市民と共に巻き起こす可見版、体験型エンタテインメント!

## 渋さ知らズオーケストラ 「みんなの大音楽祭」

日時 2/24(月・振休) 14:00

音楽、ダンス、アート全てのジャンルが混在一体となって、唯一無二の圧倒的な音楽パフォーマンスを魅せる「渋さ知らズ」がアールに登場。市民パフォーマーと共に、可児オリジナルの巨大スペクタクルを巻き起こす!

会場 主劇場

料金 全席指定 2,000円  
 25才以下 1,000円

発売日 1/11(土)



0才からご鑑賞いただける子ども向けクラシックコンサート

## おやこでうたうコンサート

日時 3/1(土) 11:00

| 出演者 |

趙知奈(ソプラノ)、福田紗永(クラリネット)、野口夏菜(ピアノ)

| プログラム |

リスト/愛の夢

ほよん行進曲 ほか

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円  
 中学生以下 500円  
 ※3才未満入場無料

発売日 1/25(土)

主催:福田音楽事務所



2023年度公演の様子

あなたのそばに、本格クラシックコンサート

## 音楽家の集いvol.83 あなたに贈る愛の歌

日時 3/1(土) 16:00

| プログラム |

リスト/愛の夢

フィンジ/5つのバガテルより ほか

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円

発売日 1/25(土)

主催:福田音楽事務所



趙知奈(ソプラノ)



福田紗永(クラリネット)



野口夏菜(ピアノ)

楽しく深掘り、歌舞伎の世界

## 歌舞伎とおしゃべりの会 3月の会 岐阜地芝居応援大使ふたり、おおいに語る 市川笑三郎VS葛西聖司

日時 3/1(土) 13:30

ゲストは、地元・中津川市観光大使も務める市川笑三郎さん。古典作品からスーパー歌舞伎まで幅広く演じる実力派ながら、リーディングオペラなど分野を問わず存在感を発揮する岐阜のスターと、皆さまおなじみ葛西聖司、ふたりの大使が歌舞伎の魅力について、熱く火花を散らします。

ゲスト:市川笑三郎

講師:葛西聖司

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売日 1/25(土)



ゲスト:市川笑三郎



講師:葛西聖司

今年もやります!名優と名人が織りなす話術の饗宴

## 古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会

日時 3/15(土) 14:00

毎年恒例となっている「風間杜夫の名人会」。今年度は、古典と新作の二刀流で当代きっての人気噺家・柳家喬太郎をゲストに迎え、落語とトークをたっぷりご堪能いただけます。

出演:風間杜夫、柳家喬太郎

会場 小劇場

料金 全席指定 3,500円  
 25才以下 1,750円

発売日 1/11(土)



風間杜夫



ゲスト:柳家喬太郎

令和6年度 優秀映画鑑賞推進事業  
**Title** 35mmフィルムで味わう名作映画鑑賞会

日時 1/26(日)・1/27(月)

	1/26(日)	1/27(月)
10:00	『独立愚連隊』	『東京流れ者』
13:30	『日本のいちばん長い日』	『けんかえれじい』

**『独立愚連隊』**  
1959年 / 108分



監督 岡本喜八  
 出演 佐藤允、雪村いづみ、中丸忠雄、鶴田浩二、三船敏郎、夏木陽介 ほか

**『日本のいちばん長い日』**  
1967年 / 157分



監督 岡本喜八  
 出演 三船敏郎、笠智衆、山村聰、松本幸四郎、宮口精二、戸浦六宏 ほか

戦中派の屈折を活劇に昇華させた岡本喜八と、独自の映像美学で世界中に熱狂的なファンを生んだ鈴木清順の作品を紹介。

会場 映像シアター 料金 全席指定 500円

発売中



主催：(公財)可児市文化芸術振興財団 / アーラ映画祭実行委員会 / 国立映画アーカイブ  
 特別協力：文化庁 / 一般社団法人日本映画製作者連盟 / 全国興行生活衛生同業組合連合会 / 株式会社KADOKAWA

**『東京流れ者』**  
1966年 / 82分



監督 鈴木清順  
 出演 渡哲也、松原智恵子、川地民夫、二谷英明、郷鏗治、浜川智子、吉田毅 ほか

**『けんかえれじい』**  
1966年 / 86分



監督 鈴木清順  
 出演 高橋英樹、浅野順子、川津祐介、松尾嘉代、片岡光雄、野田圭介 ほか

アーラ・キネマ倶楽部 3月  
**Title** 『ある一生』

上映時間115分 / 字幕  
 2023年 / ドイツ＝オーストリア

不条理な運命に翻弄された80年。それでも、彼は幸せだった。

日時 3/16(日)・3/17(月)  
 各日10:00 / 13:30

1900年頃のオーストリア・アルプス。孤児の少年アンドレアス・エグガーは溪谷に住む、遠い親戚クランツシュトッカーの農場にやってきた。しかし、農場主にとって、孤児は安価な働き手に過ぎず、虐げられた彼にとっての心の支えは老婆のアールンだけだった。彼女が亡くなると、成長したエグガーを引き留めるものは何もなくなり、農場を出て、日雇い労働者として生計を立てる。その後、溪谷に電気と観光客をもたらすロープウェイの建設作業員になると、最愛の人マリと出会い、山奥の木造小屋で充実した結婚生活を送り始める。しかし、幸せな時間は長くは続かなかった……



©2023 EPO Film Wien / TOBIS Filmproduktion München

会場 映像シアター 料金 全席指定 900円 25才以下 450円

発売日 1/12(日)

詩情豊かな歌声で味わう名曲の数々

**倍賞千恵子コンサート with 小六禮次郎**  
 ～やさしさをあなたに。思い出のページをめくって～

日時 3/20(木・祝) 14:00

自身のヒット曲『さくらのバラード』や『さよならはダンスの後に』などの名曲を夫で作曲家の小六禮次郎とともに披露するコンサートがアーラに登場。エンターテイナーとしてさらに磨きがかかったステージングと、それを支え彼女の最高値を引き出すピアノの魔術をご堪能いただけます。そこから醸し出されるやさしさ、家族、日本の風景を満喫してください。

演奏予定曲 |  
 下町の太陽  
 さくらのバラード  
 死んだ男の残したものは  
 さよならはダンスの後に ほか  
 ※曲目は変更する場合がございます。

会場 主劇場 料金 全席指定 7,000円

発売中



倍賞千恵子



小六禮次郎(ピアノ)

チケット取扱 / 可児市文化創造センター・インフォメーション

ネットで予約する <https://www.kpac.or.jp>  
 24時間いつでも予約可能! ネットでのカード決済も可能。  
 お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアーラ窓口です!



電話で予約する

TEL. 0574・60・3050

お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアーラ窓口です!

9:00～19:00

(火曜休館 / 祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で購入する

窓口でご利用可能なカード



- 発売日は窓口・ネットで販売。電話予約は翌日からとなります。
- 表記のない公演の開場は開演30分前です。
- 振込による代金支払い・チケットの配送サービス(有料)もございます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。
- 25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

簡単・便利!自宅で  
 チケット予約  
 インターネット予約

残席が当日  
 安くなる!  
 害50%  
 当日ハーフプライス

【当日ハーフプライス】  
 残席がある場合に限り公演日当日、  
 チケット料金が半額になります。  
 ※インターネットは0時から。  
 窓口・電話は9時から。

スマホで完結!  
 チケットレスサービス  
 チケットレスQ

【チケットレスQ】  
 インターネットでチケットを予約  
 購入、お手持ちのスマートフォン  
 等によって QR コードを表示して  
 ご入場いただけます。  
 ※アーラ主催・共催公演対象

【託児サービス】  
 1名 500円  
 ※要事前申込  
 ※このマークがある  
 公演対象

曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ
---	----------	----------	-----	----	-----

## 主劇場(宇宙のホール)

土	9:45	12:00	ひろみ保育園 音楽会	関係者	ひろみ保育園すくすく	0574-62-8884
金	12:15	15:15	向陽中学校 合唱発表会	関係者	向陽中学校	0574-67-1331
土・日	各日 10:00	各日 17:00	東海アンサンブルコンテスト	全席自由 2,000円	東海吹奏楽連盟	tokaioffice @info-g.co.jp
火・祝	①12:30 ②16:30	①14:30 ②18:30	美濃加茂高等学校マーチングバンド・バトントワリング 22nd Yearly Recital	全席指定 1,500円	美濃加茂高等学校 ブラスバンド部・バトントワリング部	0574-26-7182
日	13:30	15:40	可児市民第九合唱団「第九」演奏会 2025	小・中・高校生 要整理券 全席自由 1,500円	可児市民第九合唱団 米田	090-9128-5696
木	9:35	16:00	令和6年度 かわい幼稚園生活発表会	関係者	かわい幼稚園	0574-62-7180
月・振休	14:00	16:30	浜さ知らズオーケストラ「みんなの大音楽祭」	詳細は P4	可児市文化創造センター	0574-60-3311

## 小劇場(虹のホール)

土	13:00	14:30	市毛良枝の音楽と語りのひととき 「自分らしさって～登山と介護とこれから～」	詳細は P3	可児市文化創造センター	0574-60-3311
金	11:30	15:00	可児商工会議所 30周年記念事業	関係者	可児商工会議所	0574-61-0011
火・祝	13:00	16:00	可児常磐津教室 巴瑠の会 第11回 おさらい会	詳細は下段	可児市文化創造センター	0574-60-3311

## ギャラリー

日～土	9:00	22:00	第13回可児市役所 光画部 写真展 初日 13:00 から 最終日 17:00 まで	無料	佐藤一洋	090-4210-4043
27～3/3 木～月	9:30	17:00	詩と写真展 それぞれの空 2025 最終日 15:00 まで	無料	柴田哲男	090-7311-3516

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。・12/1 時点でのお申し込み状況、予定を掲載しています。

情緒豊かな語り、心に響く三味線の音

はる  
可児常磐津教室 巴瑠の会  
第11回 おさらい会

日時 2/11(火・祝) 13:00

常磐津は歌舞伎の伴奏音楽として江戸時代に流行し、現代まで語り継がれています。巴瑠の会生徒による素浄瑠璃をお楽しみください。

出演:可児常磐津教室 巴瑠の会 講師:巴瑠幸太夫

会場 小劇場 料金 入場無料 主催:巴瑠の会



# 劇場から地域を元気に 劇場の「えがお」人



今回の「えがお」人  
げんさん(中央)、やよさん(左)  
さっきーさん(右)  
(ごちゃませアートの会)

地域のアート団体「ごちゃませアートの会」と全国子ども食堂支援センター・むすびえ、そしてアーラが協働し、子ども食堂にアートワークショップを組み合わせる取り組みが始まりました。今回は、ごちゃませアートの会より、げんさん、さっきーさん、やよさんのお三方にお話を伺いました。

「ごちゃませアートの会」について教えてください。

**げんさん** 年齢、性別、国籍、障がいの有無に関係なく、どなたでも参加可能なアートの場を創っています。アートとは絵を描く、音を奏でるだけでなく、自分を表現することだと思えます。できることも、できないことも、やることも、やらないことも、すべて自己表現でありアートだと思っています。

日常生活の中でつくっていた良し悪しのモノサシがひっくり返る！自分の良さを再発見して自分に生まれてよかった！そんな、誰もが笑顔で生活できる地域、社会を作ることを目的として活動しています。

アーラは、市民が自己実現を叶える場・輝ける場づくりを担い、地域を元気にする「えがおの劇場」を目指しています。そんなアーラを素敵に「えがお」で一緒に盛り上げてくださっている人々をご紹介します。

「ごちゃませ食堂」をはじめたきっかけを教えてください。

**さっきー** 私は障害福祉の仕事をしています。最初の職場で調理の仕事に携わり、利用者さんたちとお弁当を作っていました。お弁当が売れると利用者さんも嬉しそう、やりがいも感じていて、私自身にとっても喜びでした。「食」は障がいのあるなし関係ないし、アートもそうですけど、人と人がつながりやすいもので、前から可能性を感じていました。アーラの松浦さんから「全国子ども食堂支援センター・むすびえさんと一緒に「食」と「アート」を結びつける場づくりについての話を聞いて、同じことを考えていたことに驚きました。

私たちは普段から子どもだけではなく、いろんな人たちがごちゃませでアートを楽しむ場を作っているのです。今回も子ども食堂ではなく、新しい「ごちゃませ食堂」をみんなで話し合いながら形にしていこうと思っています。

アートはハードルが高いイメージを持つ方もいるので、食事から入ってアートでみんながつながっていきける場を作っていけたらと思っています。

「ごちゃませ食堂」やっていかがですか？

**やよさん** 「ごちゃませ食堂」は、食べてすぐ帰るのではなく、アートあそびも混ぜることで楽しく自分を表現して、みんなが仲良くなる場になればと思っています。おうちではできない遊びで、子どもと一緒に大人もワクワクしてくれ

たらと思っています。

初回は、いろんな素材で自分の分身のようなミノムシを作成しました。普段の自分とは違う部分だったり、人の表現をみているような発見があったりしながら、つながりが生まれてきたように思います。

大きな木にミノムシをぶらさげて葉っぱをつけたり、森に住む生き物を描いたり、ミノムシは個人で、木はみんなでの創作です。初めての食とアートのコラボレーションの空間で、やってみたいとわからない不安な部分もあつたけれど、自然に食べ終わった子たちがアートにながれていつて遊びながら自然に人と人がつながる。アートは緊張するとか、観てるだけって人も普段いるのですが、今回は自然な感じでみんなが入っていった印象でした。いつものごちゃませアートの活動に食堂が組み合わさって、間口が広がってアートが身近になってくれたら良いです。

「ごちゃませ食堂」の今後の展開はどうなりますか？

**げんさん** 1回目は美術を題材にしたあそびでしたが、2回目は音楽、3回目は地域の方々ともコラボしながらの演劇。いろいろチャンネルしながら「ごちゃませ食堂」というものを地域に根付かせていけたらと思っています。

ごちゃませ食堂について詳しくはこちら↓



子ども食堂は全国に9000カ所と増え続けています。地域コミュニティにおいて人と人をつなげる注目すべき場になっています。この場をもっと多様な地域の方々に関わる場になればと思います。ごちゃませアートの会と共に企画してアート体験を組み合わせました。一緒に食事をしてアートであそぶことで、より深いつながりが地域に生まれていけばと思っています。



インタビュー  
松浦 正和  
(アールスタッフ)



## これぞまさしく大団円! 特別尽くしの可児歌舞伎公演2024

©林政司

売り切れ必至は常のことながら、今年はなんと配布開始30分で完売(売ってはいないのですが)。上演はまさかの豪華三本立て、想定外の「こども歌舞伎」に、白浪ならぬ「公職五人男」、締めにはたっぷりと演じ上げる「傾城阿波の鳴門」。各幕で飛び交う声援とおひねりの波に、ここぞとばかりに熱気で返す役者たち。カーテンコールでは万雷の拍手の中、大盗賊の首魁を演じた可児市長から、お集まり頂いた皆様へのお礼のご挨拶。一同深々と頭を下げたところへ、緞帳が下りる。やっと解かれた緊張と、大きな満足感から、参加者みな満面の笑み。ここに来るまで足かけ半年、いやあ、本当に、大変な道のりでした……。

「可児歌舞伎(同好会)」をご存じでしょうか?事の起こりは平成8年、廃業になった衣裳屋の貸衣裳が可児市に寄贈されたことから、その衣裳の整理や歌舞伎の勉強会が始まり、平成12年に「可児歌舞伎同好会」が結成。以来、団体名を「可児歌舞伎」と改めながら、本職の指導を受けつつ公演活動を続けてこられました。昨年(2024年)は、折しも岐阜県での国民文化祭開催、これを受けて、県を挙げて各地で「地芝居・伝統芸能フェスティバル」の公演を行うとあって、可児歌舞伎も上演参加を決めました。

この大祭り、ただの公演では面白くないと、市民参加も募集して、可児市の著名人も舞台に引っ張り上げて大いに盛り上げようと企んでいたところ、<sup>あにはか</sup> 豈図らんや、小学生から高校生まで幾人かの勇気ある子どもたちが名乗りを上げたではありませんか。この機を逃す手はないと、あれこれ考えた結果決まったのが、「白浪五人男・こども版」の追加上演でした。もともと、勢揃いの一場だけなら短い演目、いっそ二つ続けてやってしまえと。折角興味を持ってきてくれた子

もたちに、大いに楽しんでもらおうではないかと。

覚悟が決まったはいいが、さあ、ここからが大変。普段はお師匠さんの指導を受けながら舞台をやっていた身から、素人の大人たちはおろか、元気な子どもたちまで、二演目分の指導を自らやることに。加えて自分たちの演目の稽古も。当初は月に二回もやればいかと考えていた稽古も、やっぱり毎週やることになり、公職五人男の方々は元より多忙の身を削っての稽古、子どもだって今どきはあれこれ忙しい、中々全員勢揃いといかないながら、何とかセリフを入れ、振りを入れ、時に師匠の監修も受け、少しずつ仕上げていく。



そうそう、道具や衣裳、カツラだってこども用を用意しなければなりません。大道具も合わせて、あれこれ手配に天手古舞になりながらも、本番までの舞台を整えていきます。

実は、出演者全員が初めて揃ったのは本番前日、最後の舞台稽古の時でした。本当に、可児歌舞伎代表の加藤富貴子さんの心配は計り知れないものがあつたと思います。しかし最後の通し稽古を終えたとき、彼女の顔は少しホッとした、そんな表情を浮かべていました。

「なんとかこれを、未来につなげていきたい」その一心で、やり通したこの舞台。未永く、みなさまのご記憶に残るものとなれば、これ幸いと存じます。(事業制作課 中尾)



## 1月のおすすめ

【2025年企画第一弾】人気No.1いちごサンド

新年あけましておめでとうございます。本年もじゃぱんサンドイッチをよろしくお願ひ致します。毎年この時期の人気No.1は、なんといっても「いちごサンド」です!甘くてジューシーな岐阜県産いちごのみにこだわり、クリームもいちごの糖度によって、レシピを調節しております!今回じゃぱんサンドイッチ4周年記念と致しまして、【2025年企画第一弾】コーヒーチケット(11枚綴り4,400円税込)ご購入の方限定で、いちごサンドを240円引きでご購入頂けます!(先着100名様限定)コーヒー・紅茶飲み放題付きのモーニングで幸せな1年のスタートを!ぜひこの機会にコーヒーチケットをご購入してみてください♪

TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00~20:00

アラ主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF(一部対象外公演あり) ※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター - ala



1月は7、14、21、28日  
2月は4、12、18、25日

【年末年始休館】  
12月28日~1月4日



〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139  
https://www.kpac.or.jp

開館時間/9:00~22:30(火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)  
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312 ①ala\_info.01@kpac.or.jp